

## 《スローガン》 親子で読書 深める絆～本を読む子は かならず伸びる～

- ▶ 山形県PTA連合会では、親も子供と一緒に読書に親しみ、家庭に読書文化の礎を築くために親子読書を推進しています。
- ▶ 親も子も共に読書に親しむことで、親子のコミュニケーションを活発にし、子供も親も心が豊かになり、絆が深まることと思います。
- ▶ 読書習慣が子供の学力をアップします。読書習慣は文章を読み解く力と密接に関係しているのです。



子供が育つ時間はあっという間。けんかをしたり、叱られたり、いろいろあっても、親子で絵本に浸る時間は優しく気持ちを解きほぐしてくれます。…  
読み聞かせは「愛の時間」なのです。 (学校図書館アドバイザー：五十嵐絹子)

## 応募ありがとうございました！

### 令和4年度 「親子で読み合いたい一冊」の紹介

《児童・生徒の応募》の中から・・・

#### 【なんだろう なんだろう】

自分、友達、正義、自立などという、人それぞれ定義が違いそうなものを、これだと書いていくのではなく、これもあるよね、みたいな感じで書いてあるので「こんな風を感じる人もいるんだ」という自分の中にある常識の違いを考えられました。「普通って何だろう」などと、自分の奥のほうで考えながら読むと自分は多様性を認めていないなということもあったので、もっと多様性を認めていきたい。(中2)

#### 【男子弁当部】

私と同じ小学5年生の男子三人が、それぞれ大変なこともあって、面白いところもあって、最初の頃からみるとめちゃくちゃ仲良くなっていいなと思いました。家でも、朝早く起きてお弁当をお母さんといっしょに作りたいなと思いました。(小5)

#### 【昔話法廷】

昔話の登場人物たちを現代の法律で裁く内容なのに、有罪か無罪かをはっきりさせない結末なので、子供と結末について話し合うことができました。登場人物の心情を、子供ならではの視点で考えていて、子供の意外な一面を知ることができました。(小4父)

#### 【ふまんがあります】

ヨシタケシンスケさんのこの本は「たしかに一。」と思うことがいっぱい書いてあっていいなと思いました。その中でも「ふまんがあります」は、気持ちがすごく分かるし、大人もこんなこと思っているんだと分かり、親子でもポジティブに考えればいいなと思いました。(小4)

#### 【こん虫すこいぜ】

ぼくは、虫がだいすきです。こん虫のことがくわしく書いてあって、しゃんがたくさんあって、生きもののオスとメスのちがいが分かるからとってもいいと思います。(小2)

#### 【はなちゃんのみそしる】

おかあさんによんでもらって、ハナちゃんはすごいと思いました。みそしるのだしをとっているところがすごいと思いました。わたしは、ひとりだけでしょうりやせんたくができないので、ハナちゃんはえらいと思いました。(小1)

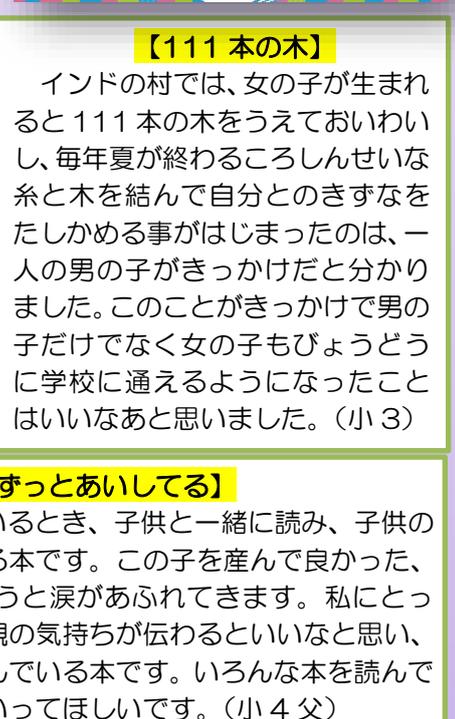
#### 【あなたをずっとずっとあいしてる】

子育てで悩んだとき、心が疲れているとき、子供と一緒に読み、子供の大切さを改めて感じ、心が温くなる本です。この子を産んで良かった、私たちのもにきてくれてありがとうと涙があふれてきます。私にとって、癒しの本です。子供にも私たち親の気持ちが伝わるといいなと思い、大きくなった今でも一緒に大切に読んでいます。いろんな本を読んでこれからも心も体も大きく成長して行ってほしいです。(小4父)



#### 【111本の木】

インドの村では、女の子が生まれると111本の木をうえておいおいし、毎年夏が終わるころしんせいな糸と木を結んで自分とのきずなをたしかめる事がはじまりました。このことがきっかけで男の子だけでなく女の子もびょうどうに学校に通えるようになったことはいいなあとと思いました。(小3)



## 親子読書活動紹介《最北地区》

### 読書に親しむ心を育む家庭と学校が連携した親子読書活動

新庄市立新庄小学校PTA

本校PTAは、毎月第3日曜日を親子読書の日とし、学校と連携しながら取り組んでいます。

#### ★「親子読書カード」の活用

**親子読書カード**

親子で読書、空の読書  
～本を借りては、返すだけ～

親子読書の目的  
1. 毎月の読書計画を立てる。  
2. 親子読書の計画を立てる。  
3. 本を選び、読む。  
4. テンプレートを記入し、できるだけ感想や感想を書き、返す。

親子読書の計画  
1. おうちの方から読み聞かせをしてもらう  
2. おうちの方へ読み聞かせをする  
3. 同じ時間に親子で読書をする

月日	読み本	方法	感想
10月	あまのじゃくなな	①	あまのじゃくなな、読んで、こころがなごやかになりました。おもしろいお話でした。
11月	おとぎ話の国	②	おとぎ話の国、読んで、こころがなごやかになりました。おもしろいお話でした。
12月			
1月			

今年度の 親子読書のベスト本 あまのじゃくなな

選んだ理由 読んでいておもしろいお話でした。おもしろいお話でした。

最終月（1月）には親子読書の中から親子で相談し、一番の本「わが家のベスト本」を1冊選びます。



#### おすすめ方

- ①親子で読書する時間を設定
- ②本を選定
- ③方法を決定
- ④感想記入

#### 主な方法

- ①おうちの人から読み聞かせをしてもらう
- ②おうちの人へ読み聞かせをする
- ③同じ時間に親子で読書をする

#### ★親子読書おすすめ本の紹介コーナー

各家庭から選ばれた「ベスト本」や新刊図書を紹介しています。

#### ★児童会が中心となる活動

図書委員会の児童が、親子読書のある週に、校内放送で自分の読む予定の本のタイトルや読書方法について話し、関心を高めています。また、児童による読み聞かせや図書まつりの開催など、読書に親しむ活動を工夫して行っています。



**図書まつり**

期間: 11月8(火)～25(金)

内容: 図書委員の読み聞かせがあります。(1～3年生)  
放送によるおすすめの本紹介  
読書うひんをします。  
お友達におすそ分けの絵はがきに書いて  
同封します。  
お友達から届いた絵はがきを、図書借りにきた人に  
プレゼント♪  
ぜひ参加してみてください



## 親子読書活動紹介《置賜地区》

### 豊かな心を育む読書推進PTA活動「親子で読み聞かせ体験」

飯豊町立第一小学校

本校では「読書が大好き」と言えるような子供たちを育てるために、学校、地域、家庭が連携し読書活動をすすめています。



今年度のPTA研修会は「親子で読み聞かせ体験」として、読み聞かせサークル「夢空間」からの読み聞かせをしていただきました。親子で聞くと普段と違った形での新鮮な時間になりました。今後も各家庭でも夕食後や就寝前など無理のない時間帯に「親子で読書」「親子で読み聞かせ」を行い、子供たちの心に栄養を与え、第一小学校の校是「美しい心と丈夫な体」に繋がっていくことを期待しています。

#### 保護者からの感想

絵本、紙芝居、しかけ絵本とさまざまな種類の読み聞かせをしていただき素晴らしかったです。どれも話の中に吸い込まれていき親子で同じ気持ちを共有できました。となりで子供の表情を感じ取ることができ、今後もお互いで読み聞かせをし合いながら、感じたことや読み取ったことを話し合いたいです。





## 親子読書活動紹介《庄内地区》

～うちどく⇔親子読書⇔読み聞かせ～

### 庄内町は三位一体の活動を行っています!!

庄内町立余目第三小学校

本校の親子読書委員会は平成 29 年に発足して、今年が 5 年目となります。親子読書は各クラス 5～6 人のグループを作り、1 冊の本を読みミニ感想文を親子で書きます。年 2 回の実施です。1 月末の授業参観日に絵本の感想を各教室の廊下に掲示します。毎年親子で深く読み込んだ様子がかがえる素敵な感想が大変多く、三小に親子読書活動が定着しているんだな～と感じています。



**親子読書スタート**  
余目第三小学校のみなさん、こんにちは！親子読書委員です。親子読書委員会は平成29年に発足して、今年が5年目となります。今年度も変わらず、親子読書委員への協力をお願いします。親子読書は各クラス5～6人のグループを作り、1冊の本を読みミニ感想文を親子で書きます。年2回の実施です。1月末の授業参観日に絵本の感想を各教室の廊下に掲示します。毎年親子で深く読み込んだ様子がかがえる素敵な感想が大変多く、三小に親子読書活動が定着しているんだな～と感じています。



親子読書委員会では、毎年リプル（朝の会読み聞かせ）に協力しています。委員のみなさんは都合をつけて年 1 回以上の参加をしています。今年度もリプルへの協力を全員が 1 回以上実施しました。参加した皆さんからは「子供たちが本当に喜んでくれた」「やって良かった」という感想を頂き、今後も続けていきたい活動となっています。

今年度、庄内町図書館『うちどく通信』へ親子読書委員会活動について寄稿しました。庄内町図書館さんからは小学校のリプル（朝の会読み聞かせ）へも参加して頂いております。庄内町では、【PTA⇔リプル⇔図書館】と、三位一体の活動を展開して子供たちの読書活動を応援しております。

## 親子読書活動紹介《村山地区》

### 「言葉の力」で知識を深める

山形市立西小学校 佐藤芳彦

本校では、平成 11 年から朝の本の読み聞かせに取り組んでおります。知識がいっぱい詰まっているポケットから、子供たちにいろいろな人の声によって、お話が飛び出していく会！「お話ポケット」として、在校生や卒業生の保護者、学区外からの協力者を募り、年 9 回の活動をしています。

語り手の方は、巨大な本や紙芝居、日本や外国の童話、時には方言や英語を織り交ぜるなど様々な工夫を凝らしながら、子供たちを本の世界へ誘います。

子供たちは新しい本との出会いがあり、語り手は子供たちを見守りながらエネルギーをもらうことができる、家庭・地域が連携した絆の輪が広がる活動です。



# 「親子で読み合いたい一冊」ベスト5

過去5年間にわたる応募の中から、親・教師・子供が推薦して下さった書籍“ベスト5”を紹介します。家族で一緒に読み合ってはいかがでしょう。

☆過去5年間の応募総数：5,461件  
(H30～R4)



## 児童・生徒の部

5位



「グレッグのダメ日記」

4位



「かみさまにあいたい」

4位



「ないたあかおに」

3位



「不思議駄菓子屋銭天堂」

2位



「さんねんな生き物辞典」

1位



「おしりたんてい」

## 保護者・教師の部

5位



「えんとつ町のペペル」

4位



「おしりたんてい」

3位



「かみさまにあいたい」

3位



「花ちゃんのみそ汁」

2位



「さんねんな生き物辞典」

1位



「泣いた赤おに」

## “シリーズ本”ランキング ベスト5

書籍“ベスト5”には入らなかったものの、シリーズ本としてみると、多くの方から推薦していただいた本があります。大変人気のあるシリーズ本です。

【かいけつゾロリ】

ゾロリはあきらめずにがんばることで大活躍します。あきらめずに続けているとそのうち成功する？お話。

【ルルとララ】

お料理をつくるお話です。お客さんをよんでパーティー。いつもおいしいような料理ができます。

【11ぴきのねこ】

とらねこ大将と10ぴきのノラ猫たちの物語。痛い目にあってもへこたれないねこたちと思いきりもかけない結末が楽しい。

【おしりたんてい】

少しおかしな（おならを出す）おしりたんていが、依頼があるとすばやく推理し、事件を解決してしま

【バムとケロ】

バムとケロの他にたくさんのお友達が登場するので、読むたびに子どもと新しい発見ができる楽しい一冊です。

- 1位:「かいけつゾロリ」  
2位:「おしりたんてい」  
3位:「ルルとララ」  
4位:「バムとケロ」  
5位:「11ぴきのねこ」